

院にゃあねっと

— 久美浜病院基本理念 —

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

冬目前 ～波穏やかな久美浜湾～

CONTENTS

- 当院職員表彰 2
- 医師紹介 3
- 医療機器(腹腔鏡手術支援システム)紹介/看護師研究発表 4
- 職場紹介「地域連携室」/重症心身障害児者への取組み 5
- 夏休み特別企画 キッズドクター キッズナースの取組紹介 6

平成29年
12月発行

通算86号



授賞者全員での記念撮影

※前列右から2人目が岩見副院長、2列左から4人目が富川看護部長

岩見均副院長、富川美恵看護部長が 平成29年度 京都府保健医療 功労者等表彰を受賞!

京都府内において保健と医療の分野で特に功績のあった個人や団体を京都府が表彰する「京都府保健医療功労者等表彰」の平成29年度表彰者に、このたび、当院の岩見均副院長と富川美恵看護部長の2人が同時に選ばれました。

同表彰は、京都府が保健衛生意識の高揚と地域保健医療行政の推進を図るため、保健医療、救急医療及び看護業務に関して特にその功績が顕著である個人又は団体を知事が表彰するもので、今年度は府内で19人の方と4つの団体が受賞されました。

岩見均副院長は、平成9年4月に久美浜病院に赴任し、以来長年、地域の小児医療の充実に寄与し、平成23年4月から副院長として小児救急の医療体制に尽力するなど地域保健医療の充実に向上に大きく貢献されたことが高く評価されて「保健医療功労者表彰・地域保健医療部門」の受賞となりました。

富川美恵看護部長は昭和63年4月に久美浜病院に看護師として勤務、また、平成19年4月からは総看護師長（現看護部長）として、長年、看護実習生の受入体制の充実や看護職員の勤務環境の改善に取り組み看護管理者として看護の質の向上に大きく貢献された功績が高く評価をされ「看護功労者表彰」の受賞となりました。



授賞終了後2人で記念撮影



山田啓二知事と記念撮影

New staff

職員を紹介します

New

職員紹介

【外科】 今津 正史 (診療部長兼外科部長)



この春外科に赴任いたしました今津と言います。

平成5年に京都府立医科大学を卒業し、小児外科に入局致しました。その後は、市中病院を中心に経験を積んでまいりました。

もともと小児だけという意識が乏しく、成人の外科にも同じ意識で対応してきました。特にこれまでで最も長くお世話になった公立山城病院(現、京都山城総合医療センター)では平成11年から24年までの間、小児外科はもとより一般外科、小児泌尿器科、救急医療など幅広く携わせ頂きました。救急を担当し、災害医療、DMAT(災害時の医療チーム)を行った関係で、平成24年から5年間、震災後の岩手県立釜石病院外科に勤務致しました。この時に腹腔鏡の手術を勉強させてもらいました。

こうした経験をこの地域で生かすことができれば何よりと考えております。どうかよろしくお願い致します。



New

職員紹介

【内科】 沖田 美香 (内科部長)

初めまして。内科医師の沖田美香と申します。京丹後市出身です。大学卒業後、京都府立医科大学消化器内科に入局し研修医時代を過ごしました。その後も大学院へ入学したためずっと京都市内に住んでおりましたが、祇園祭はニュースで、大文字焼きは病院の窓からと情緒のない生活を送りました。研究は肝臓研究班に進みまして、この頃から肝臓中心とした診療をしてまいりました。大学院修了後は大阪のパナソニック記念病院へと配属となり9年ほど勤務いたしました。肝炎ウイルス、肝癌治療に向き合う毎日でした。

出産を契機に実家である網野に戻り、久美浜病院には2016年8月から非常勤でお世話になっております。そして2017年4月より常勤医として勤務させていただくことになりました。数年ぶりの復職に加え、久しぶりのプライマリケアで戸惑うことばかりですが、少しでも地元に貢献できるよう一生懸命務めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

New

職員紹介

【内科】 小池 洋平



この度はお世話になります。今年度より、久美浜病院に赴任しました小池洋平と申します。妻

が久美浜出身というご縁もあり、この地を志願して赴任してきました。内科領域を専門として幅

広い疾患をみさせていただいております。病気はもちろんです。患者さんの背景まで考慮でき

るような主治医を目指し、医師としての責務を果たせるよう努力していきたいと思っております。まだまだ若輩者ではございますが何卒

宜しくお願い致します。私自身は岐阜県出身ですが故郷と同様に、自然豊かで人情味溢れる京丹後市は、とても居心地がよく、妻

子ともども、のびのびと生活させていただいております。京丹後市について知らないこともたくさんあり、色々ご教示頂ければと

思います。



New

職員紹介

【小児科】 田中 誠治

2017年4月よりお世話になっております、小児科の田中誠治と申します。生まれ育ちは兵庫県で、京都府立医科大学での学生実習以外では京都北部にはあまりご縁がありませんでした。2014年8月から舞鶴医療センター小児科で勤務し、初めて京都北部の医療を経験致しました。

その後久美浜病院へ赴任となり、すぐ感じたことは、「当院の小児科は非常に地域に密着し、患児とその家族全体のためを考えた医療を提供している」ということでした。今後もその流れを絶やさぬよう、私も京丹後市全体の小児医療に貢献していきたいと思っております。京丹後に住むのは初めてで、大雪などあまり経験がなく雪かきの方法や美味しいお店など、いろいろ教えて頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

腹腔鏡手術支援システムが新しくなりました

腹腔鏡手術は開腹手術と比較し、手術創が小さく、低侵襲で整容性に優れていることから近年普及が進んでいます。

一般的に手術時間は開腹手術より長くなりますが、術後の回復が速く、術中の出血量も少ないです。

手術は、内視鏡を腹腔内に挿入し、モニター画面を見ながら、鉗子という手元で操作する器具を用いています。見たい部分を拡大して見ることができ、また角度を変えて見ることができるのが大きな利点です(自分が小さくなってお腹の中に入り臓器を見ていると想像して下さい!)。ただ、鉗子の動きには制限があるため、手を用いて行う手術とは違うやり方が必要です。手術によって鉗子を挿入する部位を変える必要がありますし、臓器を好きなように動かさないので、ベッドを傾けることで、内臓をずらしたり、また特殊な器具を用いたりもします。

当院ではこれまで胆嚢摘出術を腹腔鏡で行ってまいりました。本年度から常勤外科医が2名に増員となり、様々な疾患に対応すべくフレキシブルスコープ(先端が曲がる内視鏡)や、超音波凝固切開装置(電気メスよりも確実な止血ができます)、用途に応じた鉗子類などが導入されました。これにより、4月以降虫垂切除、胃切除、大腸切除、肝嚢胞切除などが腹腔鏡下に施行できております。

手術の選択肢が広がりました。今後もひとりひとりの患者さんにとって最適な手術を提供できればと考えております。

外科 今津 正史



看護師研究発表コーナー

『看護学生実習受け入れが看護師に与える影響について』研究発表 2病棟 田中 沙小理 / 野村 敬子 / 埋金 瑞

当院では、平成27年より看護学生の小児科実習を受け入れており、病棟看護師を対象に実習受け入れ前後で、仕事に対する意識・行動の変化を調査しました。

久美浜病院における入院病棟は、内科・外科・整形外科・歯科口腔外科・泌尿器科・小児科の混合病棟で、患者の入退院が多く、多様な処置・業務に日々追われているなか、初めての实習生受け入れに不安の声も多く聞かれましたが、本年度の病棟目標の一つに、“学生実習に対する環境整備”を挙げ、「看護学生に笑顔で対応する」「指導者以外でも看護学生と積極的に関わる」など個々に行動目標を立て実習指導を前向きに取り組みました。

看護学生実習受け入れについては、2/3の看護師が指導経験のない状況でしたが、実習に関わることで漠然としていた不安が軽減されていきました。

実習指導の関わりにより、学習の必要性の意識、個別的な患者ケアの工夫への意識が高まり、看護師の言葉遣い、接遇が良くなったという意見もきかれました。これらの結果から、看護学生の実習は、相互に学ぶことが出来る良い機会となりました。

今後は、指導担当者ばかりでなく、すべての看護師が学生に関わり実習指導を共有できる体制づくりができれば良いと思います。



職場紹介「地域連携室」

地域連携室では、室長を含む看護師2名、社会福祉士1名、事務員1名の計4名で業務を行っています。

主に以下の内容の業務があります。

- 紹介入院連絡、転院相談、他病院への予約受付
- 療養病棟入院相談
- 訪問看護・訪問診療の利用窓口
- 医療費に関する相談
- 身体障害者手帳の申請援助
- 京都地域あんしん病院登録システム運用
- 重症難病患者一時入院（難病ショートステイ）の利用相談
- 重症心身障害児ショートステイ受け入れ事業
- 介護保険に関する説明
- 患者相談窓口
- 居宅介護支援事業業務
- 退院支援

医療機関・福祉・保健関連の連携を通じ地域医療の発展に貢献し地域住民が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう努めています。

入院や通院に伴って起こる患者様のいろいろなご相談にできる限り迅速に対応することを心掛けておりますので、お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。



「重症心身障害児者ショートステイ事業」への取組みをはじめました。

当院では、京丹後市内病院で初めて「重症心身障害児者ショートステイ事業」を平成29年4月より開始しました。「重症心身障害児者ショートステイ事業」とは医療的ケアが必要な在宅重症心身障害児者の方が安定して在宅生活を送り、その家族等の負担軽減を目的として行われている事業です。

これまでは、障害児者の方がご利用いただけるショートステイ事業所は与謝野町や舞鶴方面の病院や施設であり、自宅から遠方の場所とならざるを得ないことから、医療的ケアが必要な方の利用ニーズに十分こたえることができませんでした。

今回、当院において新たな事業を開始するにあたり、京丹後市相談支援専門員をはじめとする関係機関の指導を受けながら、地域医療連携室が相談窓口や調整を担当し、病棟ケアまでのながれを関係部署が連携を図りながら受け入れ準備を行いました。

開始当初は初めての事業への取組みのなかでの混乱もあり、利用者様へご迷惑をお掛けすることもありましたが、その都度、ご家族や関係機関と相談しながら改善に努めました。



「療養病棟スタッフの方が、私たち利用者が少しでも過ごしやすいように音楽を準備したり、コミュニケーションを心がけたりするなどアットホームな雰囲気の中で大変心あたまる対応をしていただきました。何度も話し合いを重ね、少しでも快適に利用できるよう迅速且つ前向きに対処していただき、大変ありがたく思います」

今後も「必要な方へ必要な医療が提供できるよう」姿勢で取り組んでいきたいと思っております。

利用に関するご相談は、担当の相談支援専門員を通じて当院「地域医療連携室」へご連絡ください。

第7回

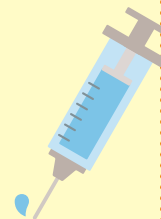
夏だ集まれ! くみはま キッズドクター、キッズナース を開催しました!



子供たちに医療現場を体験してもらい命の現場で命を大切にすることを学んでもらうと共に、未来の京丹後の地域医療を担う子供たちに、地域に根ざしたドクター・ナースに育ってほしいという願いを込めたプロジェクトとして京丹後市の小学校5、6年生を対象に去る8月9日久美浜病院夏休み特別企画、第7回「夏だ集まれ! くみはま キッズドクター、キッズナース」を開催しました。

第一部 「診察の準備をしよう」

- 人の体への理解を深めるためクイズ形式で体のしくみについて考える。
- 聴診器、体温計、血圧計、酸素飽和度などを使用して生きていることを実感。
- 医療器機を使用して、体の様子を観察。
- 模擬患者に対し皆で医師、看護師として診察に挑戦。



第二部 「病院探検」

- グループごとに担当の看護師が誘導して日頃は目にする事のない病院内を探検。



以上の三部構成により、病院の各部署の工夫をこらした企画で、子供たちは医療の現場を体験しました。

発行／京丹後市立久美浜病院 編集 広報委員会

〒629-3403
ホームページ

京都府京丹後市久美浜町161番地 電話：0772-82-1500

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shisei/kanan/hospital/kumihama/index.html>